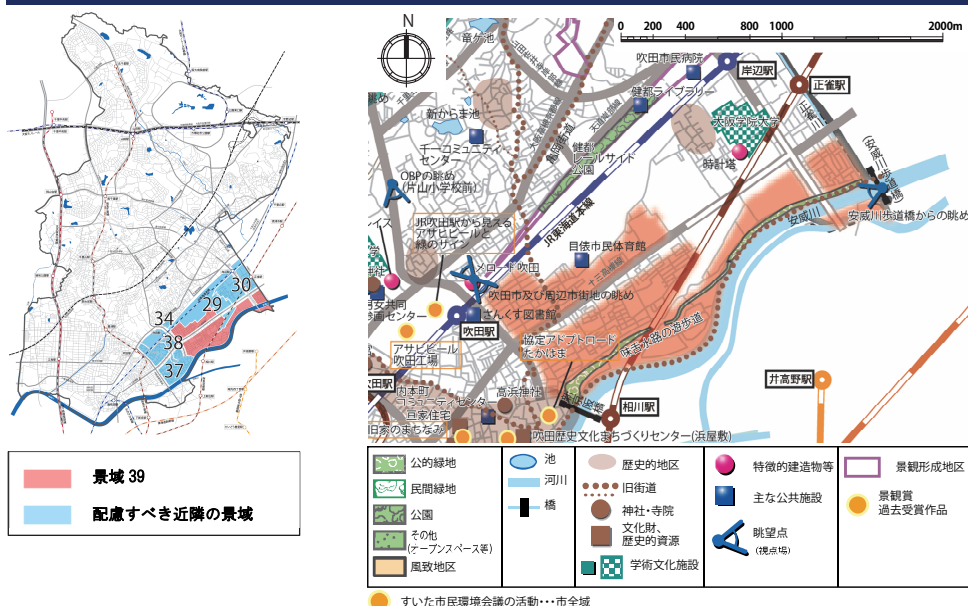


景域 39

JR 以南(東部)界限



川沿いの平坦なまちにおける下町風情の残る住宅地の景観

地形

平野に位置し、安威川に面した平坦な地形の景域となっています。安威川の近くには味舌水路を活用した遊歩道が整備されています。

歴史

古くから水田があり、戦前の耕地整理により整然とした通路が張り巡らされ、これらは現在の区画道路の基礎となっています。

戦後から高度経済成長期にかけて自然発生的な宅地化により市街地の拡大が進み、また、川沿いの川園町では府営住宅が整備されました。

土地利用

戸建住宅や集合住宅を中心とする土地利用となっていますが、十三高槻線沿いでは、商業業務施設も立地しています。

都市活動・暮らし

昔からこの地に暮らしている人が多く、高齢化が進んでいますが、下町的な地域の風情が感じられます。また、地域住民などによるアドブトリバーの取組も継続的に行われています。



集合住宅（団地）のまちなみ



安威川の河川敷

落ち着きと安らぎのある昔ながらの住宅地の景観をまもり、はぐくむ

「潤いのある景観」をまもり、はぐくむ

- 緑を保全し、身近な緑空間の拡大、育成に努める。
- 河川などの水質の保全や改善、維持管理に努める。
- 自然を感じさせ、親水性のある水辺の空間づくりに努める。
- 護岸や橋などのデザインを工夫する。
- 防災機能を確保しつつ、川沿いの遊歩道を整える。

「生きる景観」をまもり、はぐくむ

- 外壁や屋根などの連続性や統一性をつくり、まもり、はぐくむ。
- 落ち着きの中にも地域の特徴や表情、活気を感じられる空間の創出を図る。
- 敷地に花や緑を演出し、緑豊かな景観の形成を図る。
- 連続性や回遊性があり、にぎわいと楽しさを感じられる、沿道の景観づくりに努める。
- 眺めを楽しみ、歩きたくなる景観づくりや憩いの場となる空間の演出に努める。

「調和と個性のある景観」をつくり、はぐくむ

- 壁面や高さ、色彩を周囲と調和させ、まとまりが感じられる景観の形成を図る。
- 沿道施設と住宅地との調和を図る。
- 街路樹により潤いを高め、道路の舗装や街路灯などにより連続性や統一感を演出する。
- 沿道施設との一体整備やバリアフリーへの配慮など、安全で快適な歩行者空間の形成を図る。
- ＪＲ東海道本線や阪急京都線の線路周辺などの緑化や修景に努める。
- 電飾や奇抜な色彩の使用を控え、大きさや設置方法を工夫し、広告物の集合化を図るなど、周囲に調和する広告物の掲出に努める。
- 魅力的な公共空間の創出に努め、地域の魅力となる景観拠点の形成を図る。
- 緑や水辺を日常の癒しや憩いの場となるように努め、レクリエーションの場として活用する。
- 水辺の建物を整え、水面に映えるような演出に努める。
- 夜は帰宅する人を出迎えるように、照明灯の色温度や配置・配光などで夜間景観の演出を図る。
- 誰もが眺望を楽しめる場として、眺望点の活用を図る。
- 公共空間から眺められることも考慮した建築物等をつくり、良好な景観の形成に努める。

配慮すべき近隣の景域

景域 29, 30, 34, 37, 38, 45